

「みどり認定」の働きかけと「見える化」の推進

「みどり認定」および見える化（「みえるらべる」表示）について、機会あるごとに生産者等に制度の周知と取組の呼びかけを継続した結果、管内の環境負荷低減の取組が大幅に増加。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

- ・ 福島県はエコファーマー認定数が全国屈指だが、「みどり認定」に結び付かず、制度の内容や意義が十分に浸透していない状況。
- ・ 「みえるらべる」表示は、量販店等での取扱いが増加してきたが、取組効果の算定作業が複雑なため、消極的な生産者が多い。

○ 取組の内容

- ・ 県担当者と取組推進に向けた打合せを重ね、周知方針を検討。
- ・ JAの品目別生産部会等、生産者が多数集まる総会等の機会を捉えて制度説明を実施。また、環境負荷低減に取り組んでいる生産者等に対し、個別の直接訪問を重ね、周知活動と取組促進を実施。
- ・ 「みえるらべる」表示の算定シート作成に困っている生産者に対して、直接現地に出向く丁寧な指導と助言による伴走支援を実施。

○ 効果・成果、今後の方向性

- ・ 県やJAによる積極的な取組支援により、100名以上のグループ認定につながる等、県内のみどり認定者数は228名（R7年4月）から447名（同11月）へと大幅に増加。また、「みえるらべる」表示に取り組む者も顕著に増加。
- ・ 今後は、環境直接支払交付金対象者等を中心に制度の周知活動を強化するとともに、県内量販店を中心に「みえるらべる」の取組拡大に向けた働きかけを実施。



「みどり認定」認定証授与式（ピーマン）



みえるらべるを貼付した商品（モモ）

体制図

